

活動結果報告書

令和8年 6 月 8 日

越前市議会

議長 大久保 健一 殿

議員氏名 小玉 俊一



下記のとおり報告します。

日程 令和8年5月8日（金）10：00 ～ 令和8年 5月8日 （金） 12:30

活動先 京都JAビル

活動目的 シティプロモーションとは何か？越前市にどのように生かせるかを学ぶ

牧瀬 稔まさせ みのる 関東学院大学法学部地域創生学科教授

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる）

シティプロモーションとは、地域再生、観光振興、住民協働など様々な
概念が含まれています。

例えばこのシティプロモーションの発信において

地域の魅力を住民と共につくり、発信する主体としての越前市

越前市らしさを磨き、住民とともに未来をつくるプロモーション」拡大に

つながり、単なる情報発信ではなく、地域資源を再編集し、住民の誇り

（シビックプライド）を育てながら、交流人口・関係人口・定住人口の

拡大につなげる“自治体の戦略的広報・営業活動”をどのように

行えるのかという事を今後の越前市の未来のヒントがあればと思い受講

いたしました。

活動結果報告書

令和8年 6月 8日

越前市議会

議長 大久保 健一

議員氏名 小玉 俊一



下記のとおり報告します。

日程 令和8年5月8日（金）13：30 ～ 令和8年 5月8日 （金） 16:00

活動先 京都JAビル

活動目的 人口減少時代の自治体運営

牧瀬 稔まさせ みのる 関東学院大学法学部地域創生学科教授

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる）

人口減少の自治体運営としてシビックプライドがあげられています。

シビックプライドは「住民が自分のまちを誇りに思い、語り、行動する力」。

このようなことを育むために市民が語れるようになる

ストーリーテリング講座や地域イベントで「越前の誇り」を共有する場づくり。

特に人口減少下では、行政単独では限界があるため、企業・大学・NPO・住民と

の協働が不可欠とされていました。

越前市が応用できる場面としては、産業の魅力を発信する採用広報を産業の魅力を

発信する採用広報を市と企業で連携。 福井大学・短大と食育・健康づくりの共同

プロジェクト。区長会・推進員と連携した地域課題の可視化イベント・動画制作の

市民参加型プロモーション。研修では、人口減少時代の自治体経営において、

関わる人を増やすこと」が最重要戦略とされていました。

令和8年 7 月 28日

越前市議会

議長 大久保 健一

議員氏名 小玉 俊一 印

下記のとおり報告します。

日程 令和8年5月9日（土）10：00 ～ 令和8年 5月9日 （土） 12:30

活動先 京都JAビル

活動目的 「生成AIを活用した議員活動の基礎／生成AIの活用実践編」

講師：木村 亮太 氏（元枚方市議会議員）

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる）
近年、議会活動・政策形成・情報発信において生成AIの活用が急速に進んでいる。

本研修では、議員活動における生成AIの基本的理解と、住民に伝わる情報発信の実践力
向上を目的として受講した。

① 生成AIの基礎理解

- ・生成AIでできること
- ・基本的な操作方法
- ・議員活動における活用場面（質問作成、政策整理、広報文作成 等）

② 生成AI時代に求められる議員の役割

- ・良質な情報発信が、良質な情報収集につながる
- ・住民にとって必要な情報を、わかりやすく、共感を得られる形で届ける
- ・政策実現のための戦略的な情報発信の重要性

生成AIを活用することで、複雑な政策内容を住民向けにわかりやすく再構成できる。
区長会としての行政への要望書作成にも応用可能。

住民に対して「なぜその政策が必要なのか」を丁寧に伝えるための文章生成・
資料作成にAIが有効。

本研修は、生成AIを議員活動・地域活動に活かすための基礎と実践を体系的に学ぶ機会
となった。今後、議会活動・区長会・新施設運営において、AIを活用した情報整理・
発信を進め、住民にとってわかりやすく、信頼される行政・地域づくりに寄与して
いけばという思いを込めて研修会に参加しました。

活動結果報告書

令和8年 6月 8日

越前市議会

議長 大久保 健一

議員氏名 小玉 俊一



下記のとおり報告します。

日程 令和8年5月21日（金）13：30 ～ 5月21日（金）16：00

活動先 松山市総合コミュニティーセンター

活動目的 病院改革から病院経営強化へ
伊関友伸いせき ともとし 城西大学経営学部教授

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる）

病院改革から病院経営強化へ という課題から以下の7つの課題について

- ・ 職員体制の充実と各地の医師確保策 ・ 診療報酬改定の最新版の理解
- ・ 厚生労働省資料から学ぶ地域包括医療体制
- ・ 時代遅れの指定管理者制度で大量退職の悲劇
- ・ 総務省事業で無料でアドバイザー派遣が可能
- ・ 不勉強によって病院機能が崩壊した事例 ・ 人口減少社会での生き残り

人口減少社会での生き残り策として越前市の方向性は病院を地域の安心の象徴として位置づける。食育・減塩・生活習慣改善と医療を連動。新施設を地域包括ケアの拠点医療・介護・福祉・生活支援を統合した地域モデルが必要。

研修で示された課題は、越前市にとっても極めて重要であり、「医療・介護・福祉

- ・ 食育を統合する越前市モデル」 は、人口減少社会を生き抜くための現実的かつ持続可能な解だという事を痛感しました

活動結果報告書

令和8年 7 月 1 日

越前市議会

議長 大久保 健一 殿

議員氏名 小玉 俊一



下記のとおり報告します。

日程 令和8年 6月26日（金曜日）10：00 ～ 16：00

活動先 京都JAビル

活動目的 決算カードでわかる 自治体財政

杉本 康介（すぎもと こうすけ） 地方議員研究会事務局

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる）

本研修は、自治体財政の基礎構造を「決算カード」を中心に体系的に理解し、議会・地域リーダーとして **財政の健全性を見抜く力** を高めることを目的として開催された。越前市における人口減少・高齢化・社会保障費の増大、公共施設の更新需要など、中長期の財政課題を踏まえ、財政指標の読み解きと議会のチェック機能強化が重要。

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| 1, 高齢化・人口減少に伴う福祉・介護費の増加 | → 新施設運営は、市の中長期財政計画と整合させる必要がある。 |
| 2, 健康づくり・食育・減塩活動の強化 | → 医療費適正化に寄与し、財政の持続性に直結する。 |
| 3, 公共施設の更新需要の増大 | → 地方債の使途と償還計画を議会と共有し、将来負担を抑制する。 |
| 4, 区長会としての役割 | → 地域の声を財政の視点で行政に届ける「早期警戒機能」を担う。 |

自治体財政の基礎を体系的に理解し、越前市の将来を見通すうえで極めて有益な研修会でした。特に、決算カードを用いた財政分析は、議会・地域リーダーが**“違和感を見抜く力”**を持つことの重要性を再確認する内容でした。今後、区長会・新施設運営・食育推進の各場面で、財政の視点を踏まえた判断を行い、越前市の持続可能な地域づくりに寄与できればと思いました。